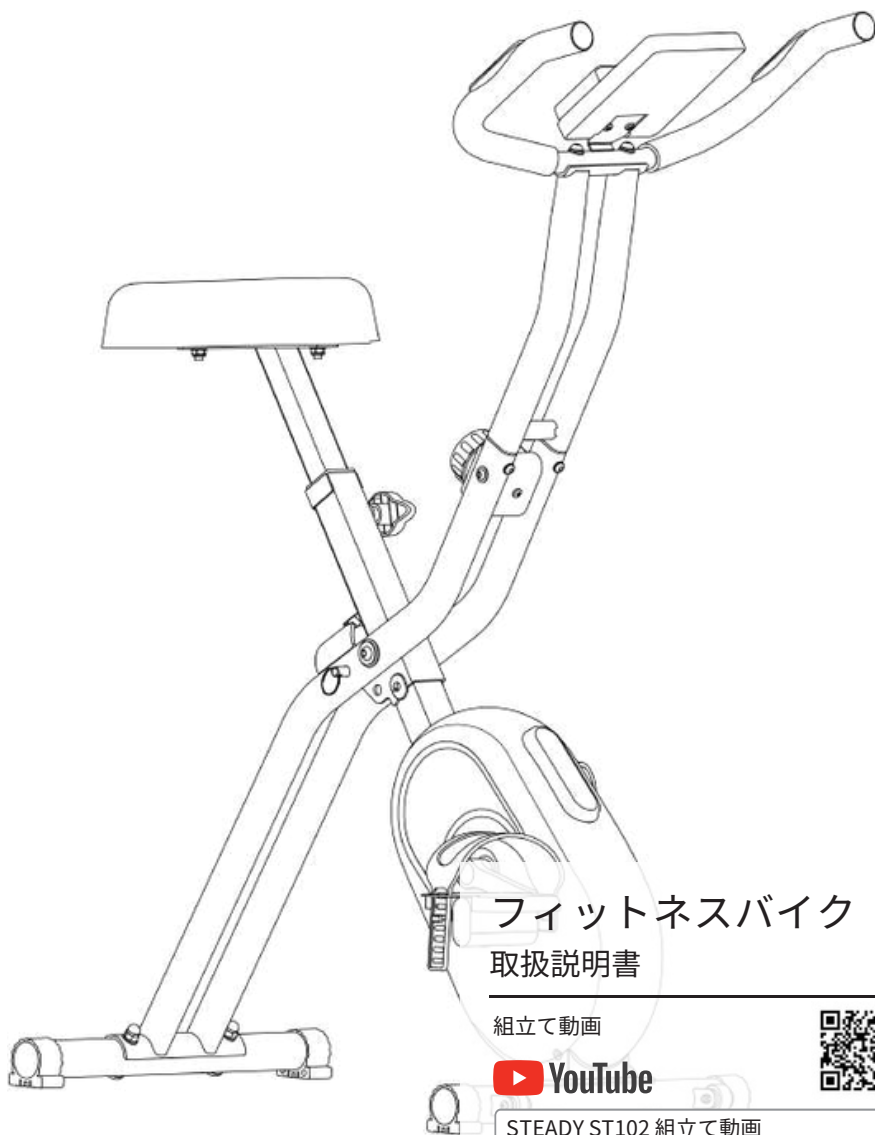


STEADY



フィットネスバイク 取扱説明書

組立て動画



STEADY ST102 組立て動画



トレーニング動画



STEADY ST102 トレーニング動画



▶ 安全にご使用いただくために

この取扱説明書は大切に保管してください。

この度は「フィットネスバイク」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

警告

1. 取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上でご使用ください。安全にご使用いただくために、本製品を組立てる際は取扱説明書に沿って組立て、本書に記載されている内容を守り、自己責任のもとでトレーニングを行ってください。本書記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用されて生じた、いかなる事故につきましても、弊社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 安全のため、定期的に本製品の点検を行い、摩耗や損傷がないかご確認ください。
3. 安全のため、取扱説明書の指示内容を守ってご使用ください。本製品の組立て時および点検時に、部品に異常が見つかった場合や、ご使用中に製品から異音聞こえたら、直ちに使用を中断してください。これら異常について修理、改善されるまではご使用をお控えください。

安全上の注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、次に該当する場合は、使用前に必ず医師にご相談ください。医師の治療を受けている方 / 安全な使用に支障をきたす可能性のある方 / 心拍数、血圧、コレステロール値に影響する投薬を受けている方 / 健康状態に異常を感じている方
2. 次のような症状が出た場合は、運動を中止し、医師にご相談ください。体の痛み / 胸部の圧迫感 / 動悸 / 息切れ / めまい / 吐き気 / 小さなお子様やペットのいる場所でのトレーニングはお避けください。
3. 製品の仕様を理解した上で安全にご使用いただけない場合、事故や怪我を引き起こす可能性があるため、16歳未満の方は本製品の使用をお控えください。
4. 本製品の使用は健康な方を対象としています。治療目的としてのご使用には適しません。
5. 本製品の耐荷重は**最大120kg**です。
6. 本製品の連続使用時間は**最大100分**です。100分を経過した場合は、使用と同程度の時間、製品を使用せずクールダウンの時間を設けてください。長時間の使用は製品の故障や劣化の原因となる可能性があります。

組立て前の注意事項

1. 組立ての際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも50cmの可動域が確保できる、水平な床の上に置くようにしてください。床の凹みや傷を防止するため、組立て時は床ヘマットなどを敷き、その上で作業してください。
2. 本製品の組立てや持ち運びの際に、製品に手や指を挟まないようご注意ください。
3. 本製品を持ち上げたり移動させたりする場合は、腰痛を引き起こす原因となる場合があるため、腰に負担がかからないよう重量物を取り扱う際の適切な姿勢や動作をしてください。
4. ご自分で分解、修理、改造を行わないでください。付属部品を外した状態でのご使用も、重大な事故の発生に繋がる恐れがありますのでおやめください。

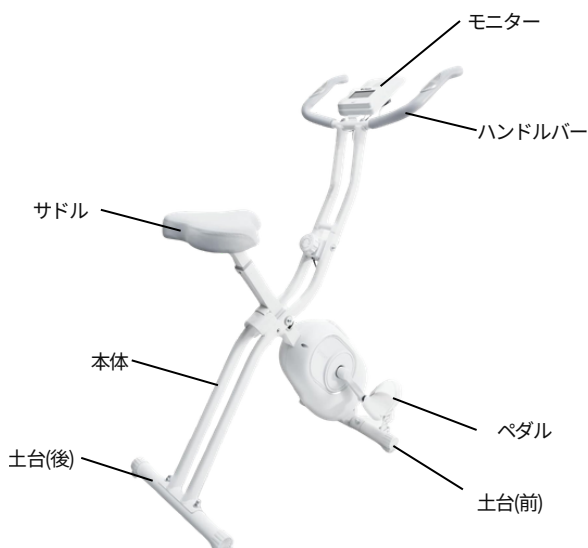
ご使用前に必ずご確認ください

ご使用いただく前に、ガタつき、グラつき、軋み音がないかどうか必ず確認してください。不具合がある場合は、以下をご確認ください。

- ・ いずれかのボルトやナットが緩んでいる場合があります。付属の工具を使用し、締め直してください。
- ・ **調節ノブが調節穴に噛み合っているか確認し、緩んでいる場合は時計回りに回して固定してください。**

製品の仕様について

サドルの高さ	7段階調節可能
負荷	16段階調節可能
耐荷重	最大120kg
連続使用時間	最大100分
製品重量	約14kg



お手入れの方法

長く本製品を愛用いただくためにも、日々のお手入れを心がけてください。

【本体】

- 汚れやほこりは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めて拭き取ります。また、汗が付着したままの状態が続くと錆の原因になります。
- 使用後はペダル部分を含め、汗がかかった場合は拭き取るようにしてください。

【表示モニター】

- 汚れやほこりは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 直射日光が当たらない場所でご使用・保管してください。故障などの原因となります。

梱包部品一覧表

1. 梱包を開けましたら、組立てを行う前に、各部品が揃っているかご確認ください。
2. 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。
その際、下記部品名称をお知らせください（連絡先：P18）。
3. 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまでご使用をお控えください。
4. 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1. 本体 	2. 固定ピン 	3. 土台（後） 	4. 土台（前）  キャスターが 付属しています	5. 土台用ボルト ×4  ※
6. 土台用ナット×4  ※	7. 土台用湾曲 ワッシャー×4  ※	8. サドル 	9. サドル用 平ワッシャー×3  ※	10. サドル用 樹脂ナット×3  ※
11. サドルポスト 	12. 調整ノブ 	13. 上部フレーム 	14. 上部フレーム用 ボルト×4  ※	15. 上部フレーム用 平ワッシャー(小)×4  ※
16. 上部フレーム用 平ワッシャー×2  ※	17. 上部フレーム用 湾曲ワッシャー×2  ※	18. ハンドルバー 	19. ハンドルバー用 ボルト×2  ※	20. ハンドルバー用 湾曲ワッシャー×2  ※
21. ハンドルバー用 スプリング ワッシャー×2  ※	22. モニター 	23. モニター用 ボルト×2  ※	24. 電池（単四電池） ×2 	25. ペダル（右・左） 
26. 六角レンチ 	27. スパナ (13mm、15mm) 	28. ペダル用スパナ 	「※」はお届け時に部品に付属しています。	

組立て手順

YouTubeに組立て動画をご用意しています。
QRコードを読み込んでご覧ください。



⚠ 組立て前にご確認ください

1. 床材の凹みや傷を防止するため、組立て時は床へマットなどを敷き、その上で作業してください。組立て後は水平で安定した床面の上に設置し、毛足の長いカーペットや不均一な表面に置かないでください。
2. 部品の一部は、本体や部品にあらかじめ取り付けられた状態でお届けしています。
3. 一部部品において連結しにくい場合がありますが、組立て後の安定性とグラつきを防ぐための設計による仕様です。組立てが難しいと感じられた場合は、誠にお手数ですが、STEADYカスタマーサポートへご連絡ください。スムーズな組立て方法をご案内させていただきます（連絡先：P18）。

STEP

01

本体に土台を取り付けます

STEP1で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1. 本体

(A)



3. 土台（後）

(B)



4. 土台（前）

(C)



5. 土台用ボルト

(D)



※

6. 土台用ナット

(E)



※

7. 土台用湾曲ワッシャー

(F)



※

27. スパナ

(G)



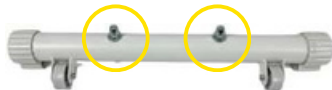
1

- ②土台（後）、③土台前（車輪付き）のそれぞれに付属している、④土台用ボルト、⑤土台用ナット、⑥土台用湾曲ワッシャーを取り外します。

(B)

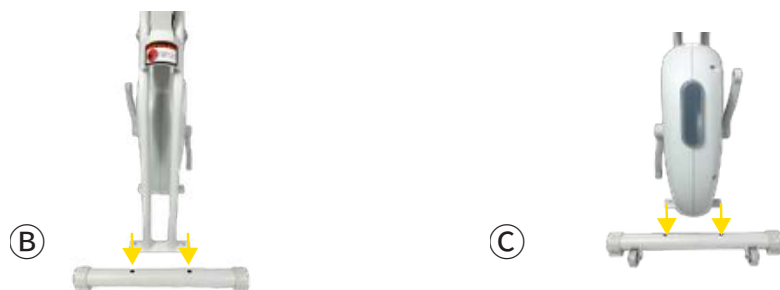


(C)



▶ 2

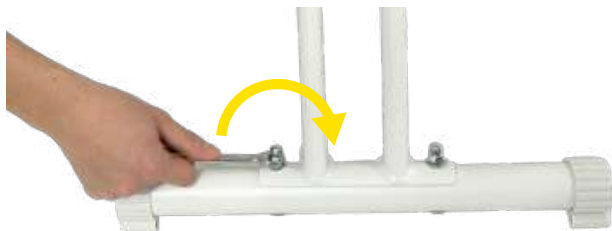
④本体の取り付け穴と⑤土台(後)、⑥土台(前)の取り付け穴をそれぞれ合わせます。



⚠ 土台の取り付け時に、指を挟まないようご注意ください。

▶ 3

⑤土台(後)、⑥土台(前)の下から⑦土台用ボルトを通します。上から⑧土台用湾曲ワッシャー、⑨土台用ナットの順に接続し、⑩スパナ(13mm)で固定します。



⚠ ⑦土台用ボルト、⑧土台用湾曲ワッシャー、⑨土台用ナットが緩んでいると、異音やガタつきの原因となります。⑤土台後、⑥土台前（車輪付き）ともにしっかり固定してください。

STEP 02

サドルを組立てます

STEP2で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1. 本体



8. サドル



9. サドル用平ワッシャー



10. サドル用樹脂ナット



11. サドルポスト



12. 調整ノブ

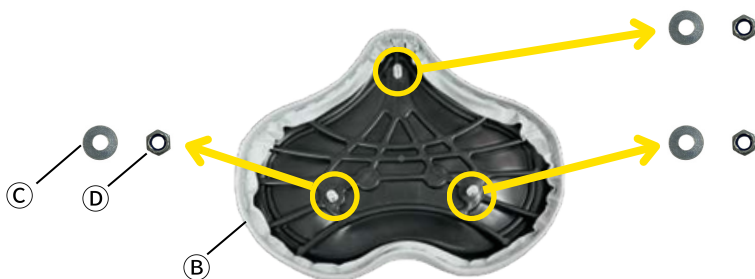


27. スパナ



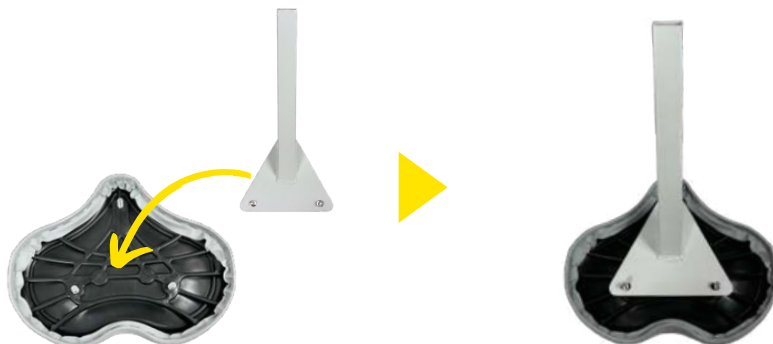
1

⑧サドルに付属している⑨サドル用平ワッシャー、⑩サドル用樹脂ナットを取り外します。



2

⑧サドル裏と⑪サドルポストの取り付け穴を合わせます。



3

手順②のサドルに③サドル用平ワッシャー、④サドル用樹脂ナットの順に接続し、⑤スパナ (13mm)で固定します。



⚠ サドル用樹脂ナットは樹脂部分を外側にして挿し込み、**樹脂が貫通するまで**固定してください。締め付けが十分でないと、ガタつきの原因になります。

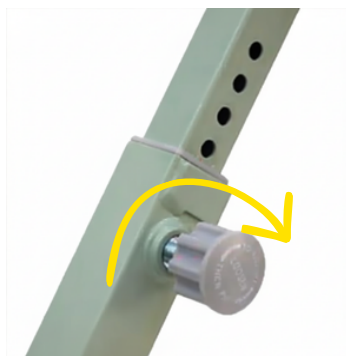
4

①本体に⑥調整ノブを挿し込んで仮留めします。続いて手順③のサドルポストを取り付け、⑥調整ノブを引っ張りながら高さを調整します。調整後、⑥調整ノブを回してしっかりと固定します。

1. ⑥調整ノブを
引っ張りながら



2. ⑥サドルポストの
高さを調整する



⑥調整ノブを回して固定

⚠ 高さ調整後は、必ず調整ノブを回して固定してください。固定が不十分な場合、ガタつき、グラツキの原因となります。

本体に上部フレームを取り付けます

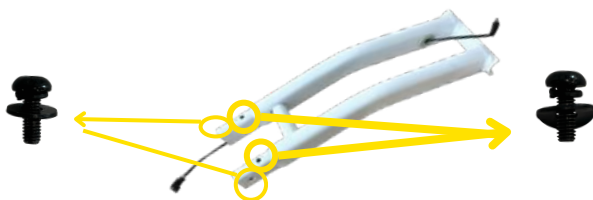
STEP3で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1. 本体 A 	13. 上部フレーム B 	14. 上部フレーム用ボルト C  ※	15. 上部フレーム用平ワッシャー (小) D  ※
16. 上部フレーム用平ワッシャー E  ※	17. 上部フレーム用湾曲ワッシャー F  ※	26. 六角レンチ G 	

1

③上部フレームに付属している④上部フレーム用ボルト、⑤上部フレーム用平ワッシャー(小)、⑥上部フレーム用平ワッシャー、⑦上部フレーム用湾曲ワッシャーを取り外します。

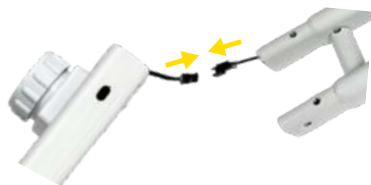
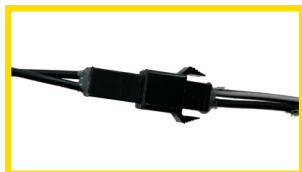


⚠ ④上部フレーム用ボルトが取り外しにくい場合は⑥六角レンチを使用してください。

2

①本体の上部と②上部フレームの下部から出ているケーブルをそれぞれ引っ張り出します。絡まがないか確認し、カチッと音がするまで押し込み接続します。

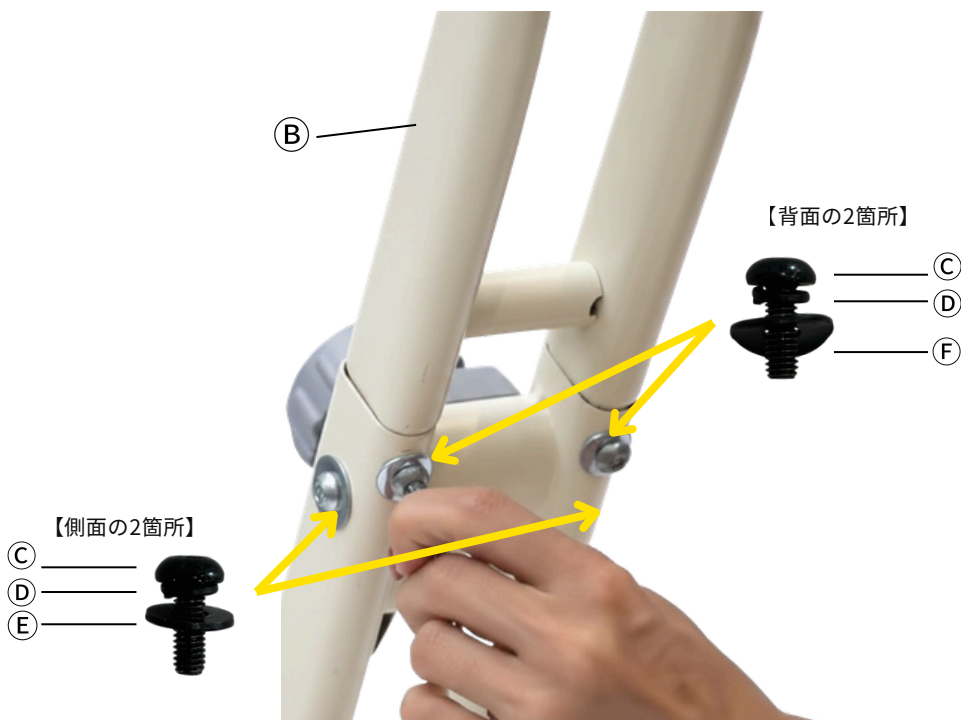
ケーブル接続部分



⚠ 上部フレーム内部の付属ケーブルは、絡まりを防ぐため、各部品と接続するとぴったり合う長さになるように設計されています。取り付け時に短く感じたり、ピンと張った状態になっていても、通常の範囲内ですのでご安心ください。もし取り付けが難しいほど短く感じる場合は、内部で上部フレーム用ボルトにケーブルが絡まっている可能性があります。一度ボルトを取り外し、再度取り付けてください。

④本体に⑧上部フレームを取り付けます。

取り付け穴のうち**側面の2箇所**には、⑤上部フレーム用平ワッシャー、⑩上部フレーム用平ワッシャー(小)、③上部フレーム用ボルトの順で取り付けます。**背面の2箇所**には、⑥上部フレーム用湾曲ワッシャー、⑩上部フレーム用平ワッシャー(小)、③上部フレーム用ボルトの順で取り付けます。それぞれ⑥六角レンチを使用し固定します。



ハンドルバーを取り付けます

STEP4で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1.本体

A



18.ハンドルバー

B



19.ハンドルバー用ボルト

C



※

20. ハンドルバー用
湾曲ワッシャー

D



※

21. ハンドルバー用
スプリングワッシャー

E



※

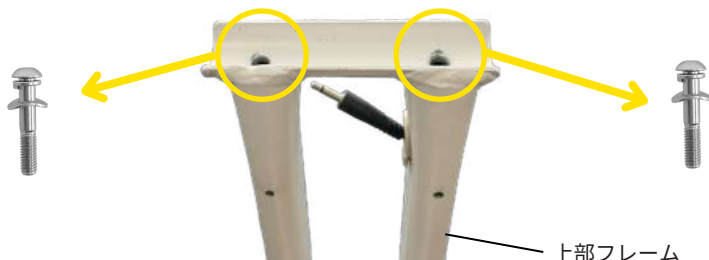
26. 六角レンチ

F



1

① ④本体に接続した上部フレームに付属している③ハンドルバー用ボルト、⑨ハンドルバー用湾曲ワッシャー、⑩ハンドルバー用スプリングワッシャーを取り外します。

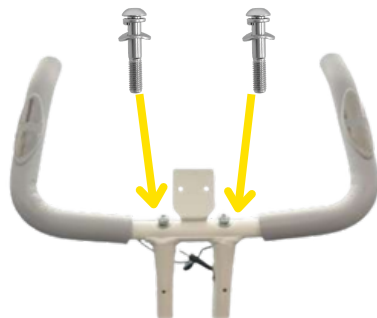


2

② ④本体に接続した上部フレームの2つの穴の位置を確認しながら⑧ハンドルバーを取り付けます。取り付け穴に⑨ハンドルバー用湾曲ワッシャー、⑩ハンドルバー用スプリングワッシャー、③ハンドルバー用ボルトの順に重ね、⑥六角レンチで固定します。



上部フレームとハンドルバーの穴を合わせ



固定する

モニターを取り付けます

STEP5で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

18. ハンドルバー



A

22. モニター



B

23. モニター用
ボルト×2

C

※

24. 電池×2



D

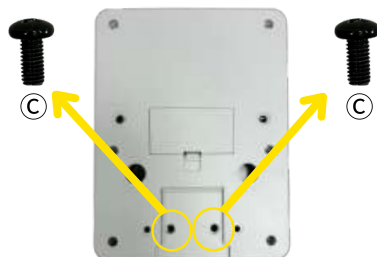
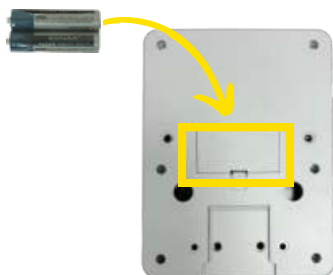
26. 六角レンチ



E

1

②モニター裏面の電池蓋を外し④電池を入れます。②モニター裏面に付属している③モニター用ボルトを取り外します。



2

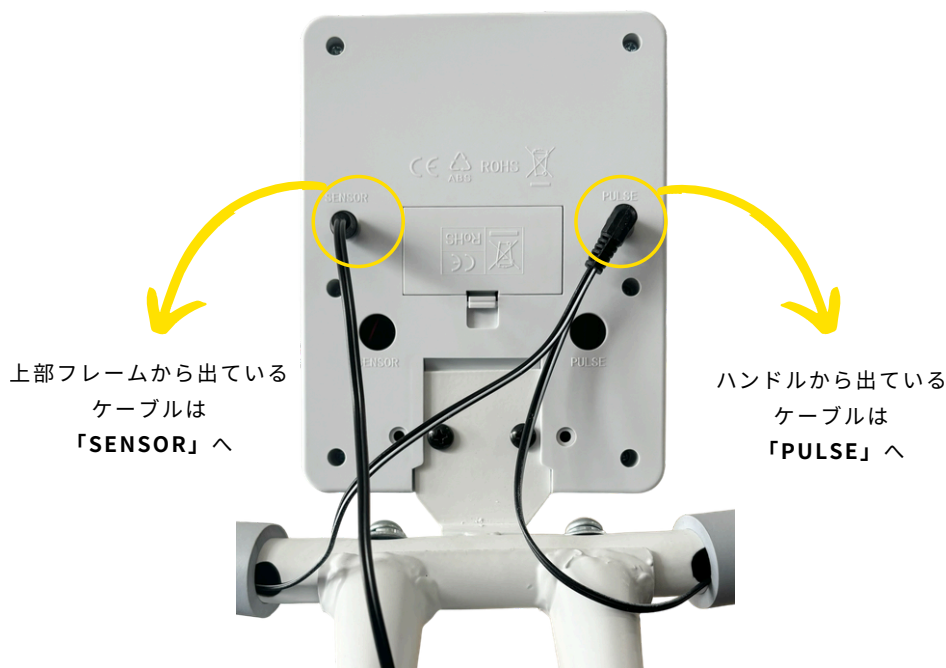
①ハンドルバーに②モニターを挿し込みます。裏側から③モニター用ボルトを接続し、⑤六角レンチのドライバー側で固定します。



3

③モニター裏にケーブルを挿し込みます。ハンドルから出ているケーブルは「PULSE」へ、上部フレームから出ているケーブルは「SENSOR」に挿し込みます。

ケーブルが長く余っている場合は、④ハンドルバーと上部フレームそれぞれの内側に入れ込んで収納してください。



 ケーブルを正しく挿し込んでいない場合、③モニターを正しく表示することができなくなります。

ペダルを取り付けます

STEP6で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1.本体

A



25.ペダル

B



27.スパナ

C



28.ペダル用スパナ

D



1

①A本体、②Bペダル、③Bペダルに付属しているペダルベルトには右「R」左「L」の表記があります。取り付け前にそれぞれ確認してください。

A



B



2

ペダルベルトを足の幅に合わせて調整します。ペダルベルトの穴を③Bペダルのフックに引っ掛け、上に引き上げるように強く引っ張って取り付けます。ペダルベルトの内側と外側のいずれも同様に取り付けます。

1.フックから外す



【ペダルベルトを外す】

2.下から引っ掛け
上に強く引き上げる

【取り付ける】

! ペダルベルトは、安全性を考慮した構造上、新品時には硬く、調整しにくく感じられる場合がありますが、不具合ではありません。ご使用に伴い徐々になじむため、安心してご使用ください。

3

⑥ペダルに付属している、ペダル用ナットを回転方向を確認し回して**取り外します**。



ペダル用ナットを取り外す際は、必ず回転方向をご確認ください。

バイクの前進方向に回すと緩みます。ペダル用ナットが付いている側から見て

【右ペダルのナット＝反時計回り、左ペダルのナット＝時計回り】です。

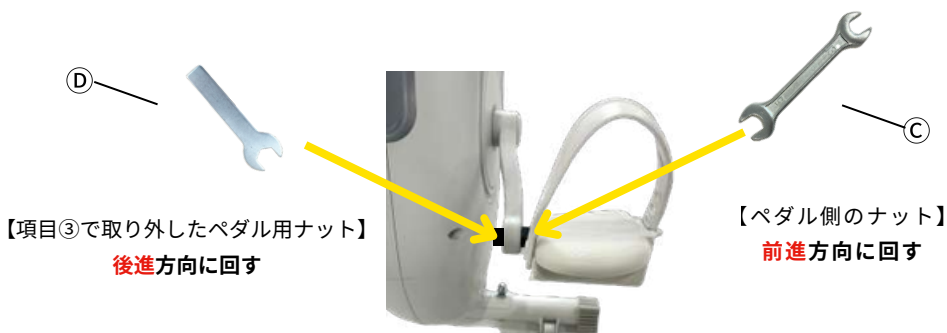
逆方向に回すとさらに固着し、取り外せなくなりますのでご注意ください。



【ペダルナットの取り外し方】

4

⑧ペダルを本体に**取り付けます**。取り付け前に、必ず**ラベルに記載の回転方向**を確認してください。本体に⑧ペダルを挿し込み、ペダル側のナットを⑨スパナ（15mm）で**バイクの前進方向**に回して取り付けます。次に手順③で取り外したペダル用ナットを接続し、⑩ペダル用スパナで**後進方向**に回して固定します。



⑧ペダルは**地面と平行の状態**で本体に挿し込んでください。平行でない場合、クランク部分が摩耗し、⑧ペダルの抜け落ち、連結不良、異音の原因となります。



⑧ペダルは回転しなくなるまで十分に固定してください。緩みがあるとガタつき、異音が発生する原因となります。



⑧ペダルは長時間の使用や強い踏み込みによって緩む場合があります。ご使用前に緩みが無いか確認し、定期的に締め直してください。

▶ 負荷調節について（16段階に調節可能）

負荷は16段階に調節可能です。負荷調節ノブを左に回すと負荷が軽く、右に回すと負荷が重くなります。ご自身の体力に合わせて負荷を調節してください。



▶ 収納方法

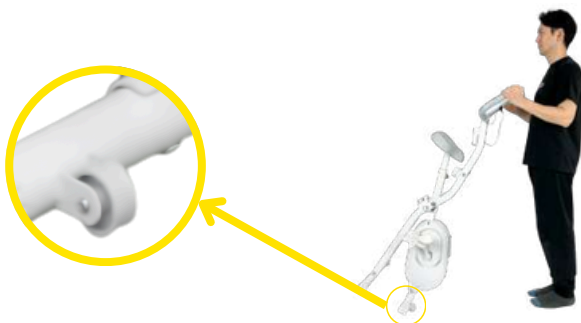
本体を折りたたみ、固定ピンを3点の穴に挿し込みます。

⚠ 固定ピンを挿し込む前に、本体の穴が反対側までまっすぐ貫通する位置になるよう、**穴の位置を確実に合わせてください。**



▶ 移動方法

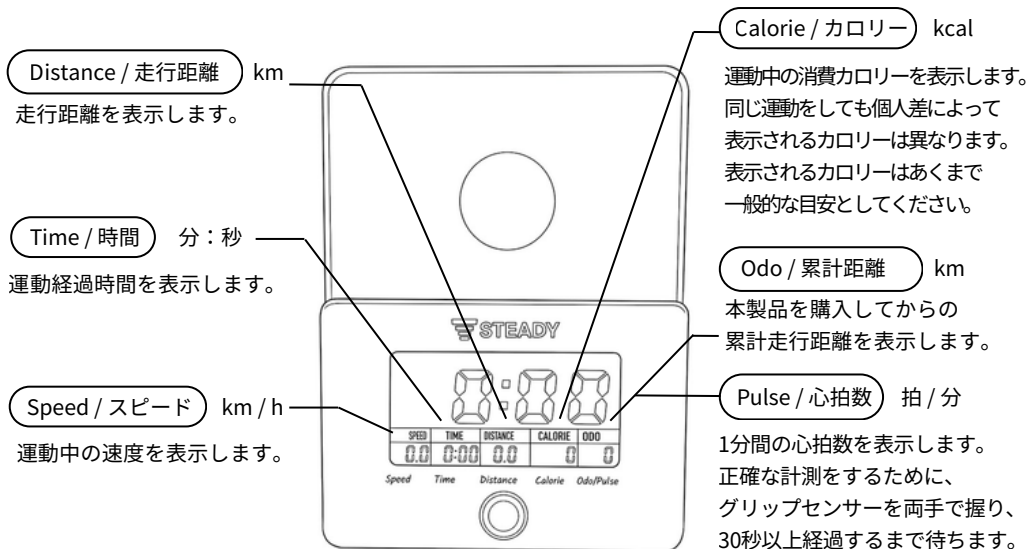
ハンドル先端部分を握り、本体を床に向かって押し下げます。土台（前）のキャスターが床に接触している状態で移動させることができます。柔らかいキャスターを使用しておりますが、床の素材によっては傷がつく可能性があります。**床を保護するため、必ずマットなどを敷いてご使用ください。**



モニターの操作方法

- 本製品のモニターは単4電池を2本使用します。モニター裏面の電池蓋を開けて電池を入れてください。
- お届け時、モニターの画面には保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。

表示と機能



使用開始と停止方法

- ボタンを押す、または運動を始めると自動的に表示を開始します。
- 運動を中止して約4分が経過すると自動的に表示が消えます。
- 表示が消えてもカウントはリセットされません。

画面の表示

- OdoとPulseは画面上に交互に表示されます。
- 表示モニターのカロリー計算は「1km=32kcal」として計算しています。
- ボタンを押すと、画面上部にメインで表示される項目を選択できます。
- それぞれの項目で表示される数値はあくまで目安となります。
- 本製品は医療機器ではないため、実際の数値とモニターの数値とで差異が発生する場合があります。ことをあらかじめご了承ください。

リセット方法

ボタンを約3秒長押しすると、全ての項目がリセットされます。

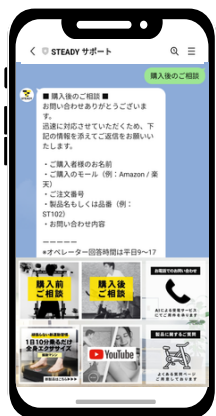
よくあるご質問・トラブルシューティング

部品が見つからない	お届け時に各パーツにあらかじめ取り付けられています。(参考:P3)
本体がガタつく	以下の部品が緩んでいる可能性があります。付属のスパナを使用し、ボルトなどをしっかり締め直してください。 ●土台のボルト(参考:P5) ●サドル裏のボルト(参考:P7) ●サドル下の高さ調整ノブ(参考:P7) ●上部フレームのボルト(参考:P9) ●ハンドルバーのボルト(参考:P10)
上部フレームのケーブルが短く感じる	上部フレーム内部の付属ケーブルは、絡まりを防ぐため、各部品と接続するとぴったり合う長さになるように設計されています。取り付け時に短く感じたり、ピンと張った状態になっていても、通常の範囲内ですのでご安心ください。 もし取り付けが難しいほど短く感じる場合は、内部で上部フレーム用ボルトにケーブルが絡まっている可能性があります。一度ボルトを取り外し、再度取り付けてください(参考:P8)。
ペダルの取り付けができない	ペダルは地面と平行となる状態にして取り付けてください。 ●ペダル側のナット=バイクの前進方向(スパナ/15mmを使用) ●ペダル用ナット=バイクの後進方向(ペダル用スパナを使用) に回してください。(参考:P14)
異音がする	ペダルが緩んでいる可能性があります。スパナを使用し、しっかりペダルを締め直してください。(参考:P14)
モニターの不良	以下をお試しください。 ●本体のケーブルと上部フレームのケーブルが確実に接続できているかご確認ください。(参考:P8) ●ケーブルとモニター裏面が正しく接続されているかご確認ください。(参考:P12) ●電池を入れ直すか、新しい電池に交換してください。(参考:P16)
モニターに表示される数値が不正確	製品は医療機器ではないため、実際の数値とモニターの数値とで差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
モニターの小傷	お届け時にモニターに貼られている保護シールが傷ついている場合があります。剥がしてからご使用ください。(参考:P16)
電話で問い合わせしたい	050-5369-0949 までおかけください。平日9:00~17:00 まで対応を行なっております。(参考:P18)

▶ カスタマーサポートへ連絡したい場合

ご不明点やご質問がございましたら、いつでもSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。

LINEでのお問い合わせ



”購入後ご相談”をタップし、
お問い合わせ内容を入力してください。



お問い合わせフォームでのメール送信

お名前、メールアドレス等をご入力の上、
送信ボタンをクリックしてください。



STEADYカスタマーサポート連絡先 & 営業時間

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝日・お盆・年末年始を除く）
050-5369-0949 / support@steadyjapan.zendesk.com

※金曜17:00以降ならびに土日祝日にいただいたお問い合わせは、休業日明けの翌営業日より順次ご返信いたします。回答までお時間を頂戴いたしますが、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

保証期間

- ご購入日より365日間となります。公式LINEからご注文番号のご登録でよりスピーディーなサポートが可能です。
- 保証期間内に取扱説明書に従ってご使用になっていた場合、保証適用外の事項に該当しない場合は無償交換が可能です。
- 保証期間が過ぎた場合は、仕入れが可能な部品に限り有償にて部品交換させていただきます。

LINE公式アカウントに
友だち登録すると

\\安心の1年保証!\\



保証適用外の事項

- 取扱説明書に記載されている組立て方法、使用方法、保管方法、取り扱い方法以外のご使用により不具合や事故が発生した場合
- 仕様の範囲内と判断された場合（駆動音、製造過程で生じる気泡、折れ、細かな汚れ、輸送中の小傷や擦れなど）
- 輸送中に外箱や梱包材が破損した場合でも、製品に不具合が生じていない場合
- 中古品のご購入や公式サイト/公式販売モール以外でご購入した場合（有償での対応は可能）
- ご自身での修理や改造などが見受けられる場合
- 地震、火災、台風、落雷などの天災、薬品、酒、水、石、塩分など、外から受ける要因による不具合や事故が発生した場合
- 未開封、未使用に関わらず保証期間を過ぎた場合

STEADYカスタマーサポートへのお問い合わせ方法

- 不具合が疑われる場合や交換をご希望の場合はSTEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください（参考：P18）。
- お問い合わせの際には、不具合が疑われる箇所の画像もしくは動画を添付してください。

注意事項

- 製品の不具合などによりお客様に生じた機会損失や金銭的損害については弊社では責任を負いかねます。
- 保証期間内の製品で不具合と判断した場合は、基本的に部品交換の対応を取らせていただきます。出張サービスや業者手配による設置、組立て、解体、梱包、修理等は原則対応しておりません。

こんにちは。STEADYカスタマーサポートです。
お客様の声を元に、みなさまが笑顔に
なれるよう努めることが私たちの使命です。
これからも一緒に歩んでいけるように。
“STEADY応援係サポーター” 小島 一生

